

広報 やめ消防

2015年（平成27年）

1月1日(木) 発行

火災件数【八女市 36件】【広川町 13件】
 救急件数【八女市 2,829件】【広川町 714件】
 【高速・その他 18件】
 (平成26年12月1日現在)

【発行】八女消防本部予防課広報係 〒834-0063 八女市本村22-1
 電話(0943)24-1119(予防課直通) E-mail:info@yame119.jp



年頭のご挨拶

八女消防本部
消防長 江島憲一

平成27年の輝かしい新春を迎え、皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げますとともに、平素から消防行政の円滑な推進に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年は、昭和40年に当消防本部が発足して50周年を迎えました。この節目の年にあたり、半世紀の歩みを振り返りますと、多くの消防関係の皆様そして地域住民の皆様から、これまで賜りましたご理解とご協力に対しまして、改めて深く敬意と感謝を申し上げますとともに、地域住民の皆様の安心安全を確保するため、決意を新たにしているところであります。

さて、昨年の災害を顧みますと、国内では、7月30日から8月26日にかけて台風12号、11号及び前線と暖湿流により日本の広範囲で豪雨が発生しました。この豪雨により京都府福知山市では約2,500世帯が浸水し、広島県広島市では多数の土砂災害が発生、74名の死者を出す等甚大な被害が発生しました。また、9月には長野県と岐阜県の県境に位置する御嶽山にて「2014年の御嶽山噴火」が発生し57名の死者と6名の行方不明者を出しました。さらに、11月22日には長野県北部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生し、最大震度6弱を観測。それに伴い46名の負傷者が発生しています。

当消防本部管内におきましては、地域の皆様の安心安全に対する高い見識により、大規模災害や大火は無かったものの、昨年の管内火災件数は49件発生し、5名の負傷者と1名の尊い人命が犠牲となりました。出火原因別でみると、前年と同じくたき火によるものが最も多くみられましたが、人的要因による火気取扱中の不注意や不始末である電気機器・配線、たばこ、ストーブ等もみられます。

また、救急出動件数は3,630件で平成25年の同時期と比べますと約200件増加しており、搬送人員の約60%が高齢者となっています。

今後、高齢化の進展や疾病構造の変化により、さらに救急需要の増加が見込まれることから、救急救命士の養成及び高度救急資器材の整備を含めた救急の高度化を進めながら、応急手当普及啓発活動を積極的に推進し、消防と地域が一体となり救命率の向上を図っていきます。

近年、日本各地で異常気象等に伴う自然災害が多発している状況を鑑みますと、再び八女地区に災害が襲いかかる可能性も十分にあります。このような情勢を踏まえ、当消防本部では特に自主防災組織や行政区単位での防火防災教室や避難訓練、災害図上訓練を推進し、災害に対する備えの充実強化を図っております。

また、大規模災害や特殊災害から八女地区住民皆様の生命、身体及び財産を守るため、八女市矢原にあります矢原グラウンドにおいて平成26年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施しました。この訓練は、九州ブロック8県の168部隊648名、福岡県消防相互応援協定に基づく県内応援隊、その他防災関係機関との連携活動能力の向上を図ると共に、緊急消防援助隊の応援体制及び受援体制の確立を目的に実施しました。

さらに「八女の祭り」に併せ、八女地区消防フェスタ2014を実施し、約1,200人の参加があり、楽しみながら消防について学んでもらうなど防災意識の高揚を図りました。今後もこのような活動を継続し、八女地区的安心安全の確保と災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

今年は、平成28年度から通信指令業務の共同運用を筑後地域8消防本部で行うのに伴い、平成27年11月17日に久留米市沓形町の筑後地域消防指令センターへ119番回線を移行いたします。このことにより、大規模災害が発生した場合、管轄を越えて複数の消防本部で迅速かつ的確な対応が可能になるとともに、指令業務を共同で整備・運用するため、単独の消防本部で行うより経費を削減できるようになります。

また、管内において各防災関係機関のご協力をいただき、隔年で実施しております八女地区総合防災訓練を実施するよう考えております。

本年も当消防本部の各施策に対するご理解とご協力をよろしくお願ひします。

結びに、皆様方にとて本年が幸多い年でありますようお祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

※火災・救急件数については、昨年12月1日現在の件数です。



平成27年八女市・広川町消防出初式

内消防出初式のお知らせ



【八女市（黒木・星野・矢部）消防出初式】

日時：1月4日（日）午前9時00分開始
 場所：八女市立黒木中学校グラウンド

【広川町消防出初式】

日時：1月4日（日）午前9時00分開始
 場所：広川町立中広川小学校グラウンド



【八女市（八女・立花）消防出初式】

日時：1月10日（土）午前9時00分開始
 場所：八女市立福島小学校グラウンド

危険物取扱者試験準備講習会のお知らせ

発合格を目指して

危険物取扱者試験受験者の予備知識向上のため、準備講習会を実施します。試験の直前対策として、ぜひ受講ください。

【日 時】

平成27年2月7日（土）午前8時30分～午後5時30分

【申込期間】

平成27年2月6日（金）まで

【場 所】

八女市本村22番地1

八女消防本部3階講堂

【問い合わせ】

八女消防本部予防課

0943-24-1119



※危険物取扱者試験は、3月1日に行われます。各自で申し込みを行ってください。申込書は、当消防本部予防課にあります。

大

規模災害に備えて合同訓練を実施

11月22日から23日までの2日間、平成26年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が実施されました。

22日の訓練では、八女市矢原でも訓練が行われ、各県の緊急消防援助隊の連携強化と技術向上を図りました。



【八女市矢原 緊急消防援助隊の訓練状況】



【緊急消防援助隊指揮支援隊の活動状況】



【福岡県八女総合庁舎駐車場 緊急消防援助隊集結状況】

また、11月26日、八女市星野村 耳納高原病院において、八女東消防署星野分署と久留米広域消防本部浮羽消防署の合同訓練を実施しました。当消防本部と隣接する久留米広域消防本部は、災害発生時の連携強化のため毎年合同訓練を実施しています。



【連携して火災の鎮圧にあたる】



【訓練全景】

第18回八女地区防火防災少年剣道大会

少

年剣士が熱戦を繰り広げる



【高学年の部】優勝 筑南道場



【低学年の部】優勝 劍志館A

12月6日、第18回八女地区防火防災少年剣道大会が開催されました。大会結果は次のとおりです。

【高学年の部】

優 勝：筑南道場

準優勝：大渕道場

3 位：長峰少年剣道クラブ

黒木道場

【低学年の部】

優 勝：劍志館A

準優勝：黒木西道場A

3 位：幸武館

木屋道場

少 八消会から防火委員会へ寄附

年消防クラブの活動のために

左：八女市消防団 松延団長
右：八女消防本部 高橋予防課長

11月1日、八消会チャリティゴルフコンペが行われ、八消会から八女市防火委員会及び八女市上陽防火委員会へ寄附を頂きました。

寄附金は、少年消防クラブの活動に使用させていただきます。

指令業務を筑後地域で共同運用



現在、平成28年度の本格運用に向け、久留米市沓形町に筑後地域8消防本部共同で、「筑後地域消防指令センター」の整備を進めています。

平成27年11月17日には、119番回線が移行され、それに伴い、同日より119番通報は筑後地域消防指令センターで受信されるようになります。

■指令業務共同運行の効果■

- ① 高機能指令システムの導入により、消防車や救急車の位置、状況を常に把握できるようになるため、迅速な出動体制をとることができます。
- ② 8消防本部の通信員が従事するため、119番通報が一時的に集中した場合でも受信、対応することができます。
- ③ 大規模災害が発生した場合には、各消防本部の管轄を越えて、複数の消防本部で迅速に対応することができます。
- ④ 8消防本部共同で整備・運用するため、単独で行うよりも経費を削減することができます。

九州地区消防職員親善剣道大会

11月29日、第46回九州地区消防職員親善剣道大会が別府市で行われました。

九州内外より45消防本部が参加し、当消防本部は、団体戦の部において、接戦を制し優勝を勝ち取りました。



【優勝を勝ち取った当消防本部剣道部員】

災害に備えた管内の取り組み



【防火教室】



【消火器取扱訓】



【簡易消火栓取扱訓】



【軽可搬ポンプ取扱訓】



【応急手当訓】



【災害図上訓】

平成26年中、管内において各行政区・事業所単位で活発に防災に関する取り組みがなされてきました。

今年も、この取り組みを継続し、八女地区の安心安全の確保と災害に強いまちづくりを進めていきましょう。

当消防本部では、各種訓練の受付を随時行っています。

詳しくは最寄りの消防署・分署へお問い合わせください。